学内共同研究公募要項

九州大学 P&P 平成 23～25 年度・A タイプ
「ゲノム・エピゲノム研究拠点形成」（研究代表者：佐々木裕之）

1. 概要

本 P&P では、次世代シークエンサーを活用したゲノム・エピゲノム研究に関する学内共同研究提案を公募し、その技術支援・経費支援を行います。

2006年に超高速の次世代DNAシーケンサーが登場し、短時間のうちに生命の基本情報であるゲノムDNAの配列データを収集することが可能になりました。本学では次世代DNAシーケンサーの導入と同時にゲノム解析コンソーシアムが組織され、さまざまな生物のゲノム情報の解析が行われています。一方、ゲノムDNAとそれに会合するヒストンタンパク質はメチル化、アセチル化などの化学修飾を受け、その修飾状態によって遺伝子発現が調節されます。個々の細胞のもつこのような修飾の総体をエピゲノムとよび、様々な生命現象や疾患を理解するために世界中でその解析が始まっています。

本P&Pでは次世代シークエンサーを利用する研究を行なうための基盤整備と、それを活用した「ゲノムの安定性・多様性とエピゲノム制御」に関する共同研究を推進して参りました。平成24年度よりこの共同研究を構成員外まで拡げ、広く学内の教員の方々から研究提案を公募し、次世代シークエンサーを活用する研究の技術支援・経費支援を行っています。平成25年度も、ウイルス、微生物からヒトの疾患に至る幅広い対象のいずれかについてのゲノム・エピゲノム研究、新たなゲノム・エピゲノム解析技術の開発（情報処理を含む）など、自由な発想による創意に満ちた基礎研究・応用研究を募集します。初心者の方にハードルが高いと思われる情報解析支援も行なう予定です。

2. 応募資格

九州大学の教員で、提案する共同研究を責任持って遂行できる者。P&P A タイプ「ゲノム・エピゲノム研究拠点形成」の構成員のいずれかを受入教員とし（下記参照）、事前に学内共同研究提案書の内容について相談してください。また、今年度中に予算を執行していただくことになりますので、サンプル調製計画にご注意ください。

3. 助成金額及び件数

およそ 100 万円を上限とし、5 件程度の採択を予定。経費は提案された共同研究の推進に必要な費用とします。

4. 応募方法

所定の学内共同研究提案書に記入し miyuhirata@bioreg.kyushu-u.ac.jp 宛てにメー

ルにて提出してください。尚、必ず事前に下記の受入教員１名と内容に関する打ち合わせを行なってください。

受入教員：

一柳健司（生体防御医学研究所・助教）

担当：bisulphite seq, small RNA seq

Tel: 092-642-6760　E-Mail：ichiyanagi@bioreg.kyushu-u.ac.jp

大川恭行（医学研究院・准教授）

担当：ChIPseq, FAIREseq, mRNAseq

Tel: 092-642-6216　E-Mail：yohkawa@epigenetics.med.kyushu-u.ac.jp

柴田弘紀（生体防御医学研究所・准教授）

担当：genome seq, exome seq

Tel: 092-642-6168　E-Mail：hshibata@gen.kyushu-u.ac.jp

5. 応募締切日　平成 25 年 11 月 14 日（木）正午　必着

6. 選考方法

九州大学・P&P 平成 23～25 年度・A タイプ「ゲノム・エピゲノム研究拠点形成」選考委員会において選考決定します。尚、選考にあたっては、次世代シークエンサー利用経験の少ない方による提案、他の経費による実施が困難な課題を優先する場合がありますのでご了承ください。選考結果は 11 月下旬～12 月上旬にご連絡する予定です。

7. 研究成果の報告

（１）共同研究終了後、学内共同研究報告書を提出していただきます。

（２）成果公表の際に本 P&P への謝辞をお願い致します。また別刷をお送りください（pdf 可）。

8. 事務担当者

生体防御医学研究所エピゲノム制御学分野　平田美由紀

〒812-8582 福岡市東区馬出 3-1-1

Tel: 092-642-6759 Fax: 092-642-6799

E-Mail：miyuhirata@bioreg.kyushu-u.ac.jp